

ほけんだより

令和5年 3月3日 開南幼稚園 NO.7



『3月3日』は耳の日です。子どもは風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことが、しばしばあります。早く対応できるよう耳の病気や聞こえの異常のサインを知っておきましょう。

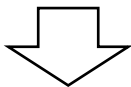
耳の病気

子どもが風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと鼻水の中にウィルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがよくあります。中耳の中で炎症が起こってうみがたまり熱を出すことや鼓膜を圧迫するため強い痛みが起こります。また、鼓膜が破れて耳垂れが出ることも。

ポイント！

発熱などの風邪の症状に加えて・・・

- ◎しきりに耳を触る、頭を振る。
- ◎機嫌が悪く、夜なかなか寝なくなる。
- ◎耳を触られると嫌がる。



鼻水を放っておかない！

聞こえの異常

難聴の原因となる病気は？

○**滲出性中耳炎**…急性中耳炎が治りきらないと、中耳にサラサラとした液がたまります。痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。

○**おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)**…原因となるウィルスが内耳に感染して、難聴を起こします。流行性耳下腺炎の予防接種を受けて、感染を防ぐことが重要です。

※聞こえの異常は、言葉の育ちにも影響します。子どもは「聞こえにくい」ことに気づきにくく、正確に言えません。聞こえにくいサインを知って、早めに気づくことが大事です。

ポイント！

- ◎テレビの音が大きい。
- ◎後ろから呼んでも気づかない。
- （後ろから呼んでも振り向かなかったり、返事をしなかったりします。）
- 左右差がある場合もあります。

※このような症状が見られたら耳鼻咽喉科で相談しましょう。

『耳掃除』うまくできていますか？

耳掃除は気をつけていても、耳の後ろや耳のみぞは見落としがち。お風呂で洗う習慣をつけましょう。



また、耳あかを取ろうとしてかえって耳の皮膚を傷つけることもあるので、耳の穴の入り口に近いところにある大きな耳あかを取り除くだけで大丈夫です。

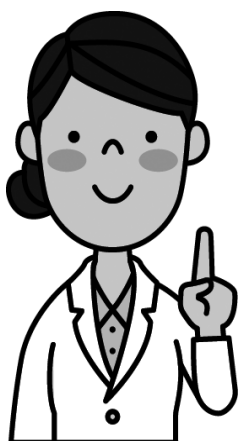
お子さんの成長を『見える化』しましょう

今年一年で心も体も大きく育った子どもたち。園では毎月子どもたちの身長・体重を計測しています。是非、母子健康手帳などの身体発達曲線に記入して成長を『見える化』しましょう。

「同世代の子どもに比べて大きい小さいか」に注目しがちですが、大切なのは経過です。伸びの度合いに沿って育っているなら問題ありません。長い目で子どもたちを見守りましょう。



◎ 学校薬剤師 鈴木明美先生から ◎



スギ花粉症の季節到来！！

スギの花粉が原因で、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ等のアレルギー症状をおこす疾患です。

日本人の38・8%の人がスギ花粉症であることがわかっています。多いですね。

症状に合わせた薬物療法の他に『舌下免疫療法』があるのをご存知でしょうか？体を花粉に慣らして症状を和らげたり、根本的体質改善が期待できる治療法です。